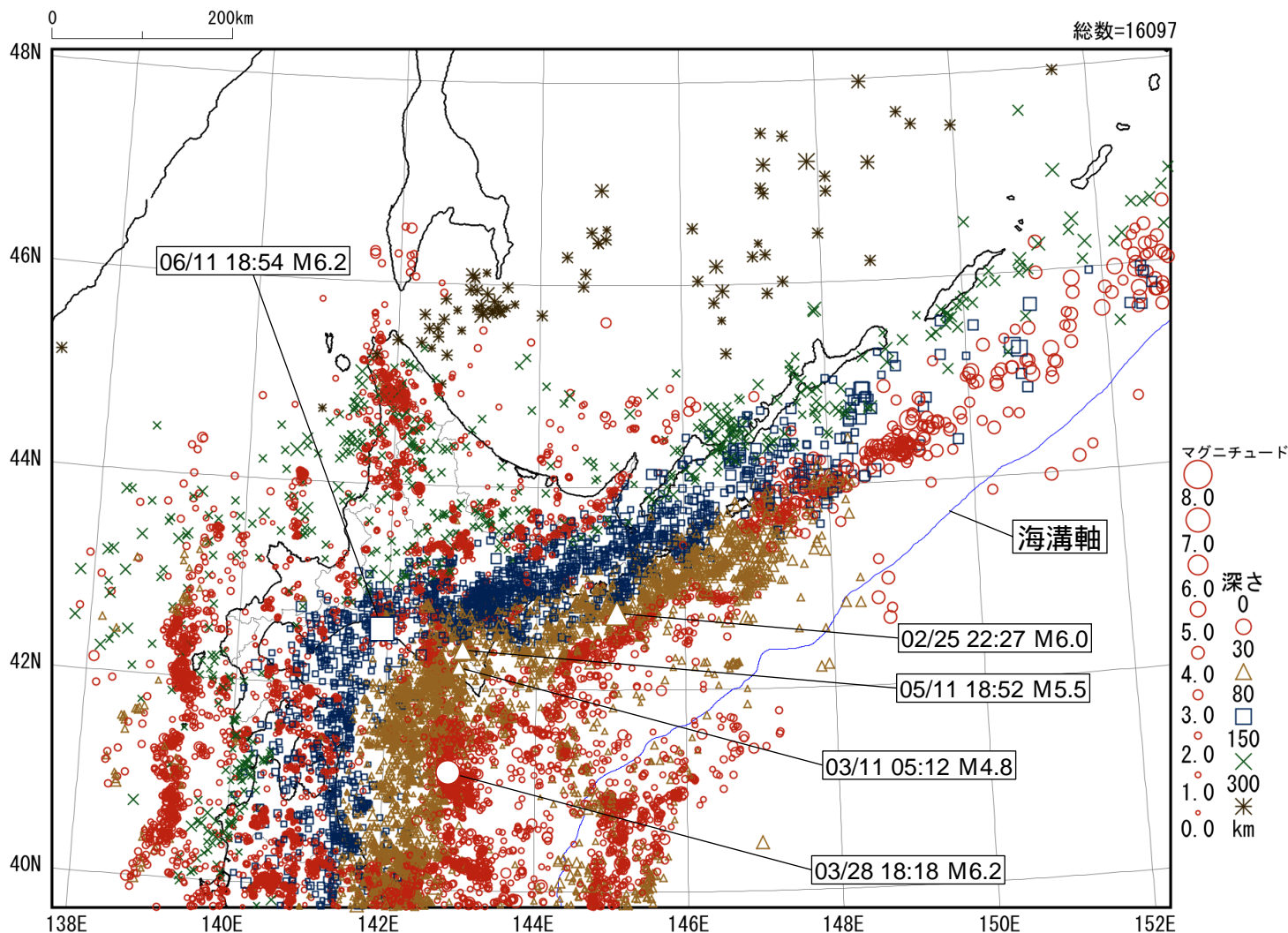


北海道の地震活動図

2023年1月1日～2023年12月31日

震央分布図

札幌管区気象台



地震概況（2023年1月～12月）

2023年に北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は、171回(2022年は229回)でした。このうち震度4以上は5回(2022年は6回)、年間を通して観測された最大の震度は5弱でした(「北海道の最大震度別・月別地震回数表」参照)。

2月25日22時27分、釧路沖の地震(M6.0、深さ63km)により、標津町、根室市で震度5弱を観測したほか、道東を中心に道内の広い範囲で震度4～1を観測しました。

3月11日05時12分、日高地方東部の地震(M4.8、深さ49km)により、浦河町で震度4を観測したほか、太平洋側を中心に震度2～1を観測しました。

3月28日18時18分、青森県東方沖の地震(M6.2、深さ28km)により、函館市で震度4を観測したほか、北海道の広い範囲で震度3～1を観測しました。

5月11日18時52分、日高地方東部の地震(M5.5、深さ55km)により、浦河町と幕別町で震度4を観測したほか、北海道の広い範囲で震度3～1を観測しました。

6月11日18時54分、苫小牧沖の地震(M6.2、深さ136km)により、千歳市、厚真町、浦河町で震度5弱を観測したほか、北海道の広い範囲で震度4～1を観測しました。この地震により、軽傷1人の被害が生じました(2023年6月19日現在、総務省消防庁による)。

※ 情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕です。

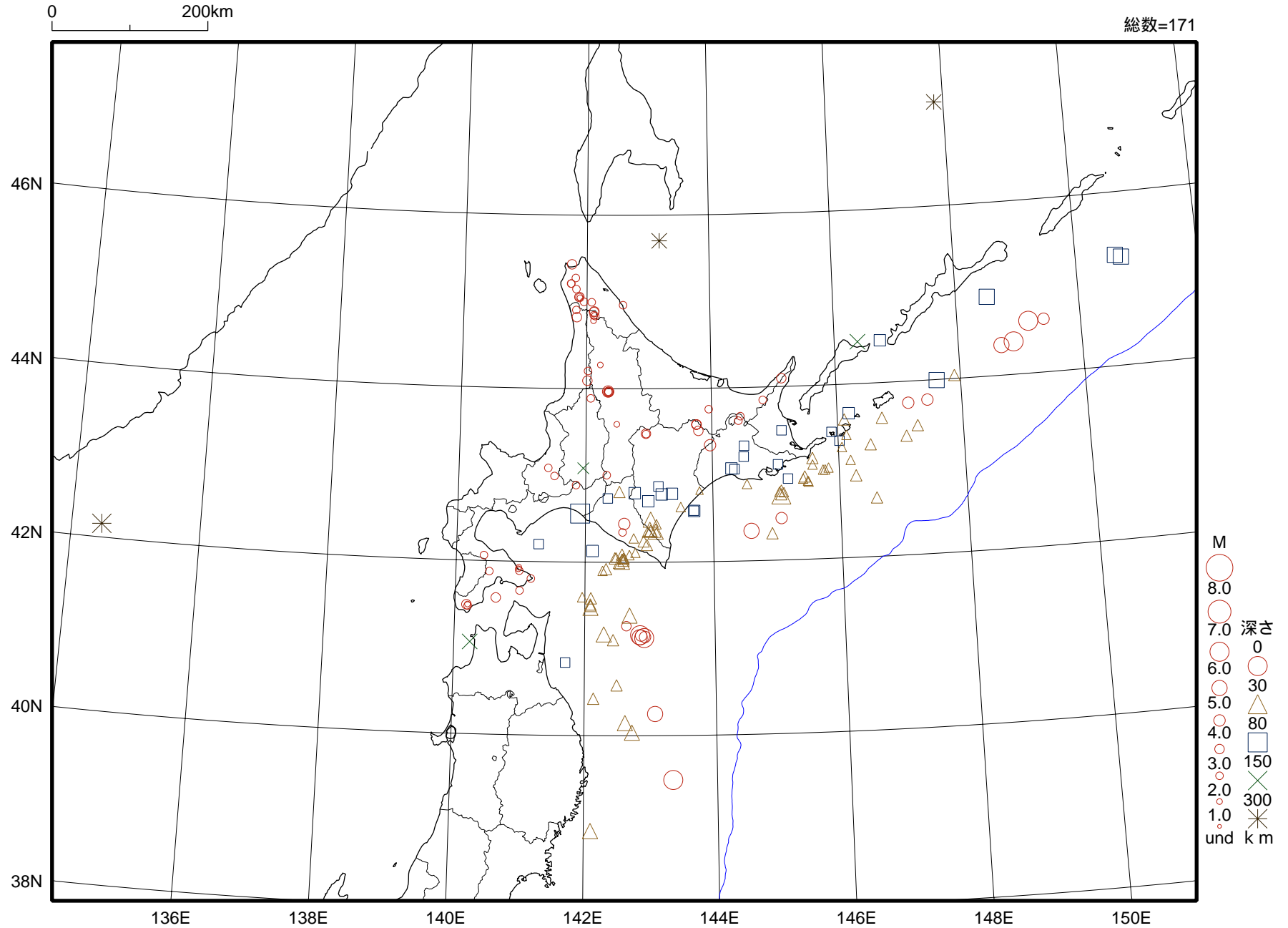
この活動図は、札幌管区気象台のホームページに掲載しています
https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake_report.html

この資料に関する問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 TEL 011-611-6125

北海道地方の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震の震央分布図

2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

総数=171

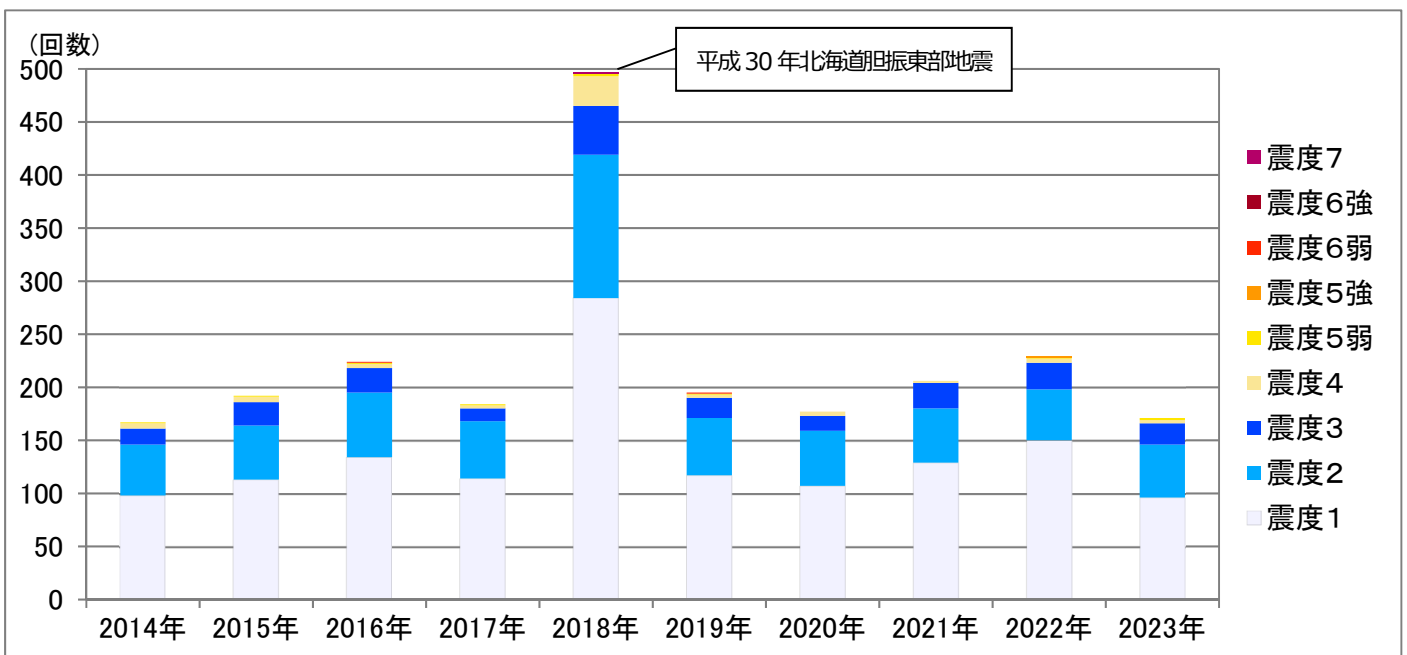


2023年 北海道の最大震度別・月別地震回数表

震度 月	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小計
1	13	4	1							18
2	9	2	2		1					14
3	6	2	1	2						11
4	12	6	1							19
5	3	6	1	1						11
6	4	8	4		1					17
7	5	4	1							10
8	4	3	3							10
9	8	4								12
10	11	4	3							18
11	10	5	1							16
12	11	2	2							15
合計 (2022年)	96 (150)	50 (48)	20 (25)	3 (4)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	171 (229)

2014年～2023年 北海道の最大震度別・年別地震回数表

震度 年	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小計
2014	98	48	15	5	1					167
2015	113	51	22	5	1					192
2016	134	61	23	4	1		1			224
2017	114	54	12	3	1					184
2018	284	135	46	28	3				1	497
2019	117	54	19	3	1		1			195
2020	107	52	14	4						177
2021	129	51	24	2						206
2022	150	48	25	4	1	1				229
2023	96	50	20	3	2					171
合計	1342	604	220	61	11	1	2	0	1	2242



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。